



# 御調坂物語 (7)

石井 静夫

## 盗人の釜と水汲場

盗人の釜も、深の伝説の一つ。魚切の道しるべの石碑から辻堂までのほぼ中間の自然歩道沿いに、大きな突出した岩がある。入口が広く覆いかぶさり、恐ろしいような岩である。内は薄気味の悪い岩穴になっており「盗人の釜」といわれている。

古老の話では、大昔は盗賊の住居になっていた。ここを通る人を襲ったという。子ども達はここを通る時は、こわくて顔をそむけて小走りに通ったものだし、しかし、この岩穴を利用する人もあった。

この付近の山の所有者は、秋の取り入れが終わると山仕事にかかると、薪、割木をこしらえ、女は負い子、男は天秤棒で尾道を市場として生活の糧とした。ここは、山仕事の最中に急に雨が降ってくる、雨宿りをし、焚火をしながら休息し、疲れをいやす都合のよい場所でもあった。

昔は雑木に覆われて、昼でも薄暗く気味悪かったが、今ではほどよく整備され、よく目立つ。



## 千川神社秋の祭典の御案内

千川神社総代 西本一二三

稲刈も終り恵みの雨も降り、朝夕一段としのぎよい気候になり皆様方には如何お過ごしでしょうかお伺い致します。

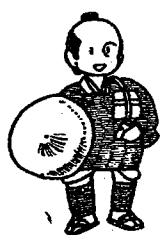
秋の大祭に今年は、稲穂劇団・総勢十五、六人を招き、歌と踊り、芝居・時代劇国定忠治を計画していますので、多数お参りくださいますよう御案内申し上げます。

### 記

場所 千川神社 (中組)  
日時 十月十九日 (土曜日)

祭典 十八時〇〇分  
太鼓踊 十八時三〇分  
芝居 十九時〇〇分

今年も祭典費を各戸一〇〇〇円の寄付を御協力お願い致します。



平成五年(一九九三)は、長雨冷夏で凶作となり、米価が急騰したが、翌年(平成六年)は一変して猛暑渇水となり、夏から秋にかけて深刻な水不足となった。

三原市の水道も時間断水となり、人々は水を求めて右往左往した。



でも、御調坂の谷の水は枯れることはなかった。うわさを聞いて、三原や近隣の人達もポリ容器を持ってやって来た。そして、緑深き山や森の恵みに感謝しながら水を汲んだ。

## 第五回三原市民体育大会の案内

深町町内会連合会 体育部長 広川弘之

- 一、日時 十月十三日(日) 九時〜雨天決行
- 二、場所 三原運動公園 (三原市陸上競技場)
- 三、その他
  - (1) 深町からの無料バス (責任者 高崎壽郎)
  - (2) 深下組 七時四十分発 (各停留所で乗車) 運動公園 十五時三十分発
  - (3) 三原うきしろ広場八時二十分より十分おきに運動公園行の無料バスも運行されます。
  - (4) 例年通り弁当、飲み物は出します。

今年も祭典費を各戸一〇〇〇円の寄付を御協力お願い致します。

八幡、沼田東、木原、中之町、糸崎、深町)となりました。選手の皆様方には持てる力を発揮し、悔いのない競技が出来ますように準備しておいてください。

又、町内の皆様方多数のご声援も強力な後押しになりますので、町内一体となり素晴らしい一日となるようにしましょう。

### 練習日

- 十月六日(日) 九時〜十一時
- 十月八日(火) 十九時〜二十一時
- 九日(水) 十九時〜二十一時



その後、訪れる人が多くなり、危険な場所も多いので、深町水利組合では、安全な場所(高平ダム近く)に、三原市商工観光課・尾道市水道局の支援を得て、階段と水汲場を設置した。

水の質を落とさないように、自然の石、岩、竹などを使って、緑の山々に降った雨が森で貯水となり、御調坂を源流としてチヨロチヨロと流れ、砂場をくぐり岩場を縫うて、彭祖の滝へと流れでる。この滝で水しぶきを浴びたものを「湧水彭祖の水」と言う。

上流には一切の汚される物がなく、五臓六腑にしみわたり、サラサラと流れる水音と清冽さがある。これが「名水」である。これからも、オゾン一杯でまろやかな口当りに恵まれた水を生み、貯えてくれる、この御調坂の緑深き水源林を汚さないよう願わずにはいられない。

岩陰まさしく水がわいている 山頭火

### 次号 滝の段と桜滝

### 山のお便り

大阪市 元疎開児童 西田勝彦

「ふかまのまど」の節目の百号刊行、本当におめでとございます。(後略)

### 一句

灼け肌に秋風の込み秋を知る 麦 畝



### 「生きる」と「死ぬ」と

深町 坪見 博文

先日夜中目が覚め、ラジオを聞いた。寝ぼけていてよくわからなかったが、気になった。ピアニストの半身が動かなくなった。ある日、奥さんが動かかないはずの指が動いているのを見て、リハビリを始め、動かなくなった指が動き出し、ピアニストとして活躍した。又病院へ行くくと元気なところも病気にして病人にする。胃ガンを入院すると安静にと、ベッドに寝かせる。胃以外の肉は元気なのに。？

「人は生まれる時は他人まかせだが死ぬ時は自分で選べる。」

このように話をたまに聞く。私は世界一幸せな死に方をしたい。

## 子ども会だより



### ◎ 結果報告 ◎

◇ソフトボール県大会予選 (九月一日開催)

深町	4x	3	木原
深町	0	1	南小
深町	1	3	舟木

### ◇市子連球技大会 (九月八日開催)

ソフトボール

○第四位

深町	6	4	宗郷
深町	1	0	田野浦
深町	1	2	須波
深町	1	2	須波
深町	1	2	須波
深町	1	2	須波
深町	1	2	須波
深町	1	2	須波



本人は死ねば骨しか残らないが、家族等周りの人は、色々なことを考える。死を見送った人が幸せな気持ちになれることが一番大切な。あの人は良い生涯を送ったな、極楽で私達を見ているだろうな・・・とうわさしてほしい。

そのために死ぬまで元気に働き、役に立つ。その気持ちがあればよい。自己満足だがそれでよい。自分が幸せでないと周りの人も幸せにならない。まず自分が幸せに生きること。私はまだまだ幸せを集める。そう思うと毎日が楽しくなる。▲▲▲

★投稿歓迎。感動したこと、取って置き話、耳寄りな話、面白い話題等をお寄せください。  
\* 紙谷 (63-3882)

### ◇ごあいさつ◇

このたび、思いがけず、「ふかまのまど」の編集を、平岡功一さんから引き継ぐことになりました。

何分とも未熟者でございますので、皆様のご指導ご鞭撻の程よろしく申し上げます。

紙谷 謹二

八年間にわたり、拙い編集を続けてまいりましたが、今回で編集の席を下り、新進気鋭な紙谷さんに引継いで頂くことになりました。

今後とも編集の補助的作業はさせていただきます。長期間大変ありがとうございました。

平岡 功一